

## 様式第3号（第12条関係）

## 会 議 録

会 議 の 名 称	吉川市次世代育成支援対策地域協議会
開 催 日 時	午後7時00分から 平成22年10月28日（木） 午後9時00分まで
開 催 場 所	吉川市役所第二庁舎201会議室
出席委員（者）氏名	市村彰英、岩崎恵、山田淑子、小林真弓、天野寿美子、田村正夫、 蔦森邦雄、斎藤正恵、一條浩、高橋友和
欠席委員（者）氏名	五十嵐修
担当課職員職氏名	子育て支援課長 菊地徹 課長補佐 岡野雄二
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公開又は非公開の別	(1) 吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（後期行動計画）に ついて 【公開】 (2) 行動計画に基づく取組状況について 【公開】 (3) その他 子育て支援ネットワークの位置付けについて 【公開】
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
傍 聴 者 の 数	0人
会 議 資 料 の 名 称	資料1 吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（後期行動計 画）、同ダイジェスト版及び前期行動計画ダイジェスト版 資料2 吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（前期）個別事 業実施状況 資料3 吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（後期）個別事 業実施計画書（平成22年度～平成26年度） 資料4 子育て支援ネットワークについて
会 議 録 の 作 成 方 法	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会 議 録 確 認 指 定 者	岩崎 恵 、山田 淑子

その他必要事項	
---------	--

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項）	
事務局 子育て支援課長 各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料確認</li> <li>・あいさつ</li> <li>・自己紹介</li> <li>・委員長選出・・・事務局提案により市村彰英委員を選出</li> <li>・副委員長選出・・・委員長指名により高橋友和委員を選出</li> </ul>
委員長 副委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・あいさつ</li> <li>・吉川市次世代育成支援対策地域行動計画策定協議会の会議傍聴要領について説明 ～承認～</li> <li>・出席委員数の確認（11人中10人出席）、出席委員数が委員総数の過半数となっているため、会議の有効を報告</li> </ul>
委員長	<p>議事開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議署名人選出（岩崎委員及び山田委員を選出）</li> <li>・議題の（1）について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川市次世代育成支援対策地域行動計画（後期行動計画）について説明。（資料1）</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局より、後期行動計画の説明がございましたが、ご意見ご質問などございますか。計画策定に携わられた委員の方は経過等についてご存知かと思いますが、今回初めて委員になられた方はいかがでしょうか。</li> </ul>
一條委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画83ページの11番のショートステイ事業については、乳児院との契約を締結されたということですが、事業としてスタートできる状態ということでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士見乳児院及び愛泉乳児園の2か所と契約締結により、事業化されております。ただし、契約の条件としては、施設に空きがあった場合となっております。</li> </ul>
一條委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児院には児童相談所でも入所の措置をしておりますので、ある意味では児童相談所からの入所措置で満室の状態になっているとも言えるのですが、最近は虐待に起因した保護が増えていることもありますので、冠婚葬祭や出産などで子どもを一時的に預けたい場合などは、児童相談所以外の窓口があるというのは良いことだと思いますので、よろしくお願いま</li> </ul>

事務局	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児院などを利用する場合は、空き室の状況や、利用の際の健康診断などの条件がありますが、先ほどご説明でも触れましたが、緊急サポートセンター埼玉による宿泊預かりなどは、費用は高くなりますが、ゆるやかな利用が可能かと思えます。</li> </ul> <p>現在、緊急サポートセンター埼玉は、厚生労働省からの委託を受けて事業を行っておりますので、吉川市内におきましても活動しておりますが、平成22年度を以て委託が終了しますので、平成23年度からは個別に委託契約を行い、活動の継続を図ることを予定しております。</p> <p>平成22年4月から9月までの活動報告によりますと、病児預かりが2件、送迎サポートが1件となっております。会員登録は、利用会員が23名、サポート会員が12名でございます。</p> <p>平成23年度以降につきましても、宿泊預かりを含め、緊急時等に対応できる、サポート事業の充実を図ってまいりたいと考えております。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかがでしょうか。只今の説明以外に関することでも結構ですが、何かご意見はございますか。</li> </ul> <p>～意見なし～</p> <p>では、議題（2）行動計画に基づく取組状況について、事務局での説明をお願いします。</p>
事務局	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画等に基づく取組状況について説明。（資料2、3）</li> </ul> </div>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。非常にたくさんの事業がございますので、皆さまのお立場で関連する事項を含め積極的なご意見をお願いします。</li> </ul>
事務局	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※事務局追加説明</p> <p>埼玉県補助金を活用した事業の取組状況についての説明を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤ちゃんの駅」設置事業</li> <li>・インフルエンザ対策事業（保育所（園）への空気清浄機の設置）</li> <li>・公園遊具修繕事業</li> <li>・子育て支援サービスガイドブック等作成事業</li> </ul> </div>
一條委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料2の4ページ2番の新生児訪問の実績は少しずつ増えているようなのですが、全ての新生児を訪問するという対応になっているのでしょうか。</li> <li>・一條委員のおっしゃっているのは、乳児家庭全戸訪問事業をベースにしたお話かと思いますが、吉川市では、乳児家庭全戸訪問という形で事業は実施しておりませんが、ある一定の期間内に全ての新生児との接触を持つということで対応をしておりますし、当該事業において県の方へ第二種社会福祉事業として届出を済ませているということを健康増進課より聞いております。</li> </ul>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いま、事務局がお話ししていたのは、厚労省の「こんにちは赤ちゃん事業」ということですね。4か月の定期健診までに訪問を含んだ接触を行っているということですのでよろしいでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。ただし、乳児家庭全戸訪問として行っているのではないため、新生児訪問事業として、実施計画には掲載しております。</li> </ul>
齋藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児等の健診事業では、年齢の上昇と共に受診率の低下が見受けられます。保育所などに入所しているなどからなかなか健診に行けないということも考えられますが、未受診者への対応というのはどうなっているのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童の把握は行っておりますので、当然ながら未受診者の把握もできております。未受診者に対しましては、催告通知等により健診を促すことをしていると思われませんが、どの程度まで催告を行うかは把握しておりません。場合によっては、保健師による家庭訪問を含めた対応をしているものと思います。</li> </ul>
委員長 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にはいかがでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画の最初の「はじめに」のページに記載されています、「今後は、国や埼玉県をはじめ、市民、地域、企業や関係機関、団体などとの役割分担と相互の連携を図りながら・・・」は後期行動計画のポイントであったと思うのですが、この地域協議会が市民、地域、企業の活動にどう関わっていくのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高橋委員のおっしゃった、「国や埼玉県をはじめ、市民、地域、企業や関係機関、団体などとの役割分担と相互の連携を図りながら・・・」という部分は計画の根本を成すところではありますが、地域協議会がこれを進めるということはないと思います。ある意味では行政主導という形にはなってくると思います。子育て支援課のみで計画が遂行されるわけでは無く、庁内の各事業課がそれぞれの関わりをもってきますので、庁内連絡調整会議等を活用してまいります。すべての事業が計画通り進行していくことは非常に困難ではあると認識しています。特にワークライフバランスなどは、企業活動が大きく関わってまいりますので、内側からの施策というよりは、企業等に対する周知・啓発活動に留まる事も推測されます。民間組織・団体との相互協力により物事が進められれば理想であると考えています。天野委員の所属されるネットワークさんと子育てサロンを立ち上げたのも民と官との連携による事業と考えています。地域という部分では、本日は、自治連合会さんからもご出席いただいておりますように、自治会さんとの連携ということも必要になってまいります。</li> </ul> <p>進み方はゆっくりであっても、着実に目に見える形で、進めていきたいと思っております。そういったものをこの地域協議会の中で検証していただき、皆さまからの意見やご提案をいただければと、事務局では考えております。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いかがですか、いまのご意見についてでも、ほかの点についてでも結構です。何かご意見はございますか。</li> </ul>

田村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の3ページのNo.20のパパママ応援ショップは、開始からすでに3年くらい経っているが、協力店舗数が非常に少ないと思います。吉川市の商業だけでもたぶん、2,500件くらいあると思うのですが、協力店舗の募集はどのように行っているのかと更新カードの交付はどのように行われたのか、この制度自体を知らない店舗等が大半だと思うがそういった方々へのPRをどのように考えているのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>この事業は平成19年度から開始された事業で、事業主体は埼玉県になっておりまして、各自治体では自治体内の各店舗に協力を依頼して、登録をお願いしているわけですが、田村委員のおっしゃる通り、吉川市の規模からすれば、登録店舗が少ないというのは事実でございますが、周知不足は否めないところでありますが、登録店舗数は徐々にではありますが増加しております。商工会さんの集まりにも子育て支援課の職員が行って説明やお願いをしてはいるのですが。</li> </ul>
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんど無いと思います。商工会員だけでも1,250件ありますので、そこでPRしただけでも100や200はすぐに登録されるような気がするんですが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>頻繁に行っているわけではありませんので、PR不足というのは否定できません。本来21年度で事業自体は終了する予定でしたが、埼玉県が更に延長を決定しましたので、平成21年度の更新カードの発行ということになりました。中学生以下のお子さんがいらっしゃる家庭がカード交付の対象となりますので、更新時には対象世帯を抽出し、ダイレクトメールにてカードを交付しました。 登録店舗数が少ない、周知方法が完全ではないというご指摘に関しましては、今後は商工会さんを通じて各会員さんに対する協力依頼というものをやっていきたいと思っております。</li> </ul>
天野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>パパママ応援ショップ事業につきましては、よしかわ子育てネットワークにて埼玉県より助成金を受けまして、平成20年度に加盟店の冊子を作成し、子育て中のお母さんに無料で配布しております。お母さんたちは、このパパママ応援ショップのカードは持っているんだけど、どこで利用したらいいのかわからないと言って、冊子をお求めになるケースが多いです。大規模なチェーン店などはよく知られているが、市内の個人商店などでは、どこが登録していてどこが登録していないのかわからないし、登録点であることを表す、ステッカーも小さくて分かりにくいので、もっと分かりやすいように「のぼり」などを立てていただくと良いのにといい意見もあります。</li> </ul>
葛森委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所のウェブサイトから入っていけるのではないですか。</li> <li>市ホームページでは、市内の登録店さんを掲示しておりまして、そこから県のホームページにリンクを貼っております。こちらでは、各店舗さんの詳細データを閲覧することができます。</li> </ul>
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のホームページにあるのですか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のホームページでは、登録店舗さんの一覧表を掲載しているのですが、さらに県のホームページに飛びますと、各店舗の紹介が細かくされております。ただし、誰もがパソコンを持っているわけでもありませんので、天野委員がおっしゃったように、手軽に情報を見ることができる、冊子などがあれば一番良いと思います。また、何より登録店舗数が増えないと利用しづらいというのはあると思いますので、登録店舗数を増やすためのPRや登録店舗のPRをもっとしていく必要があると思います。</li> </ul>
田村委員 葛森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録店舗を表記したマップなどを作成するのも有効だと思います。</li> <li>資料3、6ページの健診事業等に、就学時健診が記載されていないが、これは学校教育課が事業として、子育て支援課に挙げてこなかったということなのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学時健診事業としては挙がってきていなかったと思います。次回事業として挙げていただければ、掲載をします。</li> </ul>
葛森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>3歳4か月の健診のあとは、就学児健診の間まで約3年間、公的な健診が無い。その間については、ご意見が出たことは無かったのでしょうか。具体的にいうと、5歳児健診などですが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業課を含め、策定協議会の中でも特に意見はありませんでした。地域協議会の意見として、出されたことを庁内連絡調整会議において報告させていただきます。</li> </ul>
葛森委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>何故、5歳児健診が必要かという、就学児健診の際に直近の健診結果を見るのですが、3歳4か月まで遡ることになるので、その間の発達の状況が分かる資料が必要と思われるからです。</li> </ul>
事務局 山田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>よろしいでしょうか。他に無ければ次の議題に移りたいと思いますが。</li> <li>意見では無く、感想になりますが、前期の個別事業の実施状況を見ますと、自分が子育て中には無かった施策が、こんなに便利になってきているんだなと感じていることが、このような表になっていることでさらに実感できる内容になっているなと思います。例えば、乳幼児医療費の窓口払いの廃止、土曜日保育の時間の延長、パパママ応援ショップ事業などでは、企業さんの目に見える協力などはそれまでなかったが、いまではスーパーのポイントカードと一緒に普通にパパママ応援ショップの優待カードをレジに出すなど、普段の生活の中に浸透しています。また、天野委員が携わっている子育てサロンや赤ちゃんサロンなど、私の子どもが0歳の頃には全く無かったのですが、市と民間ボランティアによる協働で立ち上げ良くやっていたいてまいりましたし、さらに発展しているんだなと感じました。そういったことを、この表を見ていると改めて子育て世帯への支援が充実してきているなと感じました。</li> </ul>
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局から何かありますか。</li> <li>小さな積み重ねですが、今後も更に内容が良くなるよう後期でも頑張っていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実してきた部分もあり、未だ実現できていない部分もありますが、良い</li> </ul>

<p>齋藤委員 事務局</p>	<p>方向に進んでいくように、ご意見をいただければありがたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>策定協議会には、障害者団体の方が参加されていたように思うのですが。</li> <li>策定協議会には参加されておりませんが、前期の行動計画地域協議会の構成員に、障がい者の方々に関係される方がいらっしゃいました。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>※この発言に対し、訂正を表記させていただきます。</p> <p>後期行動計画策定協議会におきましても、公募市民の方で、障がい者の方々に関係されるお仕事に就いていらっしゃる方が参加されておりましたので、訂正のうえ、お詫び申し上げます。</p> </div>
<p>齋藤委員 事務局 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やはり、自分の所属する団体や組織に関係する部分とにかく目がいきますが、今回の地域協議会では、障がい者の方々の施策に関係される方がいらっしゃらないことから、そういった部分に関しましても私たちが目を広げてみていかなくてはいけないと思います。</li> <li>庁内連絡調整会議では、社会福祉課の障がい担当の者も居りますし、行動計画では、全てのお子さんを対象とした事業を展開してまいります。</li> <li>我々もその辺の所をしっかりと見ていく必要があると思います。</li> </ul> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>では、議題（3）について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 委員長</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>今協議会において承認を求める事案となることを申し添えた上で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その他 子育て支援ネットワークの位置付けについて説明。（資料4）</li> </ul> </div>
<p>委員長 事務局 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ただいま事務局から説明がありましたが、補足して説明を求めたいことやご意見・ご質問はございますでしょうか</li> </ul> <p>具体的に言いますと、子育て支援ネットワークというのは、要保護児童対策地域協議会などのことも挙がっていましたが、要保護児童対策地域協議会であれば、保健センターとか保育園や家庭児童相談員などがネットワークを組んで、ケースに対応していくこととなりますが、この地域協議会でネットワークを考えた時に具体的にどのようなネットワークというものを皆さんがイメージされたらよろしいのかもう少しご説明いただけますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育てに関する団体や組織は多数ありますが、これらを全て構成員とする組織を立ち上げることは非常に難しいことですし、また同じような内容をテーマとする会議として重複することも考えられます。そこでこの地域協議会を核として、事務局が中心になり、必要に応じて各組織・団体と調整して、事にあたるということになります。情報の共有に関しましては、今後開かれる地域協議会の場において行うこととなります。</li> </ul> <p>イメージとしましては、子育て支援課が中心となって、皆さま方との連携を調整するということとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この地域協議会が、子育て支援ネットワークとして、動く必要があるときは、この協議会を核として動いていくという位置付けをしてよろしいか</li> </ul>

<p>事務局 副委員長</p>	<p>ということですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。</li> <li>・ネットワークは個人ということではなくて、委員が所属している機関がネットワークを作るということですか。</li> </ul>
<p>事務局 葛森委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はい。</li> <li>・市の方でも子育て支援課だけではなく、他課との関わりも出てきますよね。</li> <li>・市内の組織は当然、子育て支援課が他課と関わりを持つようになりますが、このネットワークはむしろ、庁外の組織との係わりが中心になります。</li> </ul>
<p>葛森委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私は学校代表で参加していますので、その都度上部機関である学校教育課にお伺いを立てるといふか、連絡を取っていなければなりませんので、ネットワーク内での関係と、教育委員会内での関係をどこが調整するのかということなのですが。</li> </ul>
<p>事務局 委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援課が行います。</li> <li>・まだ具体的にどうなっていくかというレベルではない気がします。子育て支援ネットワークというものをこの地域協議会が主体となって考えていきたいと思いますということで、先ほどの説明でも、他市町では、要保護児童対策地域協議会が主体となっていたり、社会福祉審議会がやっているところもあるようですが、吉川市では、この地域協議会を主体としたいというご提案ですよ。子育て支援ネットワークが何たるかということは、地域協議会が必要性に応じて、これからネットワークをどう作っていくかということはこの地域協議会が主体となって考えていくという位置付けでよろしいですか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域協議会がネットワークそのものとして位置付けられます。資料4の1ページ、2の必要性をご覧くださいますと比較的分かり易いかと思うのですが、総合支援窓口である子育て支援課に色々な相談が寄せられた時などに、最も適切な組織や機関などに引き継ぐという際に、この地域協議会の構成機関を引き継ぎ手として考えたい。もちろん、最適な機関等が地域協議会外にある場合にはその機関への引き継ぎを行うということになります。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースバイケースで、どこの機関がふさわしいかというのがありますし、どこの機関と協働していくかということもあるわけですよ。皆様からのご意見があれば伺いたいと思いますし、無ければ承認の決を採りたいと思いますが。</li> </ul>
<p>田村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協議会の名簿を見ますと、様々な機関から委員の方が参加されています。まさしく、これがネットワークではないかと思いますので、私はこれでよろしいと思います。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、皆さまのご承認を多数決で確認したいと思いますので、地域協議会に子育て支援ネットワークの位置付けを行うことにご承認いただける方の挙手をお願いします。</li> </ul> <p>はい、全員の方の挙手がありましたので、承認とさせていただきます。</p>

